

## 事前評価調書

I 事業概要																																																			
事業名	交通安全施設等整備事業（歩道設置）																																																		
地区名	（主）岐阜稲沢線																																																		
事業箇所	一宮市北方町中島																																																		
事業のあらまし	<p>本路線は、岐阜県と尾張地方の主要都市を結ぶ幹線道路であり、当該箇所付近には大型ショッピングセンターが隣接して立地しているため、交通量が非常に多い路線となっている。</p> <p>しかしながら、当路線は一部歩道が整備されていない区間が存在するため、自転車・歩行者が車道を通行することとなり非常に危険な状態となっている。</p> <p>本事業では、道路幅員の再配分により歩道スペースを確保することで、早期に自転車・歩行者の安全な通行空間を整備する。</p>																																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者及び自転車の安全性確保</li> <li>・死傷事故件数の削減</li> </ul> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p>																																																		
事業費	事業費	内訳																																																	
	0.15 億円	■工事費	0.12 億円、	□用補費	億円、	■その他	0.03 億円																																												
事業期間	採択予定年度	平成25年度	着工予定年度	平成25年度	完成予定年度	平成26年度																																													
事業内容	歩道設置 事業延長 L=390m 歩道設置 L=390m 防護柵設置工 L=270m 縁石工 L=320m 区画線工 L=800m																																																		
II 評価																																																			
①事業の必要性	1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26,236台/日と交通量が多いにもかかわらず歩道が未整備な区間となっている。</li> <li>・4年間（H20からH23）で死傷事故が10件発生している。</li> </ul>																																																	
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 前述のとおり、現状の問題を解消する必要があると判断されるため。</p>																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道設置</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">0.15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	工種区分	調査・設計	←→						用地補償							工事	←→						歩道設置	←→						事業費（億円）		0.15					
			H25	H26	H27	H28	H29	H30																																											
工種区分	調査・設計	←→																																																	
	用地補償																																																		
	工事	←→																																																	
	歩道設置	←→																																																	
事業費（億円）		0.15																																																	
2) 地元の合意形成	平成22年度から毎年地元要望が出されている。																																																		

判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	地元要望があることから合意形成は容易と考えられる。
Ⅲ 対応方針		
事業実施	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】  【主な評価内容】 ・ 死傷事故件数の変化		